オフィスシュレッダー(スリムタイプ)

KPS-X430 取扱説明書

このたびは、オフィスシュレッダー(スリムタイプ)／KPS-X430をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ■ 本製品は、紙専用のシュレッダーです。
- ■ 安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に本書をよくお読みください。
- ■ 本書をお読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。ご使用前に必ず本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

警告	この表示は、死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容です。	注意	この表示は、傷害を負う可能性および、物的損害の発生が想定される内容です。

図記号について

禁止	この図記号は、絶対に行ってはいけない「禁止」の内容です。	指示	この図記号は、指示に従い行っていただく「強制」の内容です。

⚠警告

幼児、お子様に使用させない
けがなどの事故につながる恐れがあります。

投入口や排出口に手を入れない
けがなどの事故につながる恐れがあります。

ネクタイ、ネックレス、衣類などを投入口に近づけない
巻き込まれることにより、けがなどの事故につながる恐れがあります。

髪の毛を投入口に近づけない
巻き込まれることにより、けがなどの事故につながる恐れがあります。

可燃性スプレー（エアダスターなど）は使用しない
ガスが充満し、引火、爆発の原因になります。

細断中は投入口をのぞき込まない
細断物が飛び散り、けがなどの事故につながる恐れがあります。

細断物を持ったまま細断しない
細断物と一緒に引き込まれることにより、けがなどの事故につながる恐れがあります。

機器の上に乗らない、腰掛けない
倒れたり、投入口に巻き込まれて、けがなどの事故につながる恐れがあります。

ドアが開いた状態で動作する場合は、使用を中止する
そのまま使用すると、けがなどの事故につながる恐れがあります。
販売店に修理をご依頼ください。

細断くずを捨てる場合は、安全のため電源を切り、電源プラグを抜く
けがなどの事故につながる恐れがあります。

使用後は、安全のため電源を切り、電源プラグを抜く
誤動作により、けがなどの事故につながる恐れがあります。
特にお子様の事故にはご注意ください。

お手入れの際は、安全のため電源を切り、電源プラグを抜く
誤動作により、けがなどの事故につながる恐れがあります。

異常があったときは、すぐに電源プラグを抜く
●機械内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
●煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

火災・感電の原因になります。
販売店に修理をご依頼ください。

移動させる場合や、長時間使用しない場合は、安全のため電源を切り、電源プラグを抜く
コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
また、コードに引っかかり、けがなどの事故につながる恐れがあります。

オートオフ機能で細断が停止した場合は、安全のため電源を切り、電源プラグを抜く
モーターが冷えてオートオフ機能が解除された時に、突然細断が開始し、けがなどの事故につながる恐れがあります。

分解・改造しない
感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V・50/60Hz以外での使用はしない
たこ足配線など、定格を超えると、発熱による火災・感電の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、加工したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、重いものをのせたりしない。）
傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災･感電の原因になります。

機械内部に金属類を入れたり、水などをかけない
火災・感電の原因になります。

高温になる場所や、湿気、ほこりの多い場所に置かない
火災・感電の原因になります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かない
火災・感電の原因になります。

機器が転倒、落下により破損した場合は使用を中止する
火災・感電の原因になります。
販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む
火災・感電の原因になります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

不安定な場所に置かない
倒れたりして、けがの原因になることがあります。

直射日光のあたる場所に置かない
誤動作・故障の原因になります。

機器の上にものをのせない
誤動作・故障の原因になります。

お手入れの際、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない
変色・変形・傷などの原因になります。

最大細断枚数を超える紙を投入しない
故障の原因になります。

紙以外のものを細断しない
特に粘着剤のついた紙、湿った紙、フィルム付封筒、ラミネート / パウチフィルム、フィルム / ビニール類、布、OHP シートなどを細断しないでください。
故障の原因になります。

ドアを開けっぱなしにしない
けがや故障の原因になります。

ステープル（ホッチキスの針）、クリップは外して細断する
故障の原因になります。

移動時は輸送用ネジを取りつける
外したまま移動すると故障の原因になります。

※本製品は弊社で定める品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万が一、製造上の原因による故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

※お客様または第三者が本製品の誤使用や故障、その他の不具合など、本製品の使用を原因として発生した損害や逸失利益につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

オートスタートセンサー
投入口から7cm下の中央にセンサーがあります。
投入されたものを感知して、自動的に細断を開始します。

モードランプバー
本体の動作状態を表します。緑…細断可　赤…エラー

クリップトレー
クリップなどを一時的に置く所です。

緊急ストップボタン
細断中に押すと停止します。

緊急ストップ

投入口
細断する紙をここから投入します。

インターロックスイッチ
ドアが開いている場合に、電源を遮断します。

満杯センサー
排出口の左右にはセンサーがあります。細断くずの満杯を感知すると、自動的に細断を停止します。

ポケット
シュレッダーメンテナンスシート5枚が入っています。

ドア
ゴミ捨ての際に開閉します。

排出口
細断くずがここから排出されます。

キャスター

ゴミ箱
細断くずがここにたまります。
ゴミ袋を取り付けて使用します。

入れすぎランプ
投入した紙の厚みが規定(最大細断枚数)の厚みを超えたときに点灯します。

ドアオープンランプ
ドアが開いているときに点灯します。ドアが開いていると作動しません。

入れすぎ
ゴミ満杯
ドアオープン
オートオフ

ゴミ満杯ランプ
ゴミ箱が細断くずで満杯になったときに点灯し、自動的に細断を停止します。

オートオフランプ
モーターが過熱状態のときに点灯します。(オートオフ機能が作動)

電源ボタン
電源の「入/切」に使用します。

電源
入／切
逆転
正転
スタート

逆転ボタン
押している間、細断刃が逆転します。紙づまりのときなどに使用します。

正転ボタン
押している間、細断刃が正転します。投入口に残っているくずを落とすときなどに使用します。
※通常の細断には使用しないでください。

スタートボタン
細断を開始するときや、再開するときに使用します。

スタートランプ
点滅…細断待機　点灯…細断可

電源プラグ

ブレーカ
入　切
異常な電流が流れたときには、自動で電源を遮断します。電源を復帰するときはボタンを押し込んで[入]にしてください。

ブレーカボタン
異常な電流が流れたときには、自動で電源を遮断します。電源を復帰するときはボタンを押し込んで[入]にしてください。

ポケット
ゴミ袋5枚が入っています。

ドア
ゴミ捨ての際に開閉します。

設置のしかた

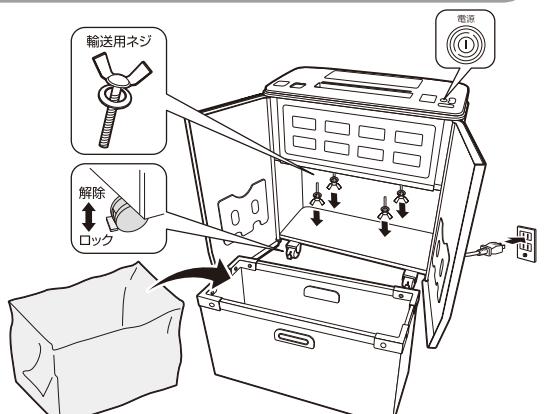
1 **本製品を平らで安定した場所に置きます。**

2 **電源ボタンが[切]になっていることを確認します。**

3 **ゴミ箱を引き出します。**

4 **輸送用ネジ4本を外してください。**
本体を移動させるときは、ネジを取りつける必要があります。
外したネジは取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

5 **ゴミ箱にゴミ袋を取り付け、セットします。**
ゴミ袋はゴミ箱内の壁に沿ってきれいにのばしてください。
ゴミ箱は、奥まで確実にセットしてください。

6 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**
細断するときは、P.4「細断のしかた」を参照してください。

警告
- お子様やペットのいる場所で使用しないでください。
- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
- 調理台や加湿器の側など、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。

注意
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 故障を防ぐため、本体を移動するときは輸送用ネジを取りつけてください。

細断のしかた

1 電源ボタンを押し込み電源を[入]にします。(スタートランプ点滅)

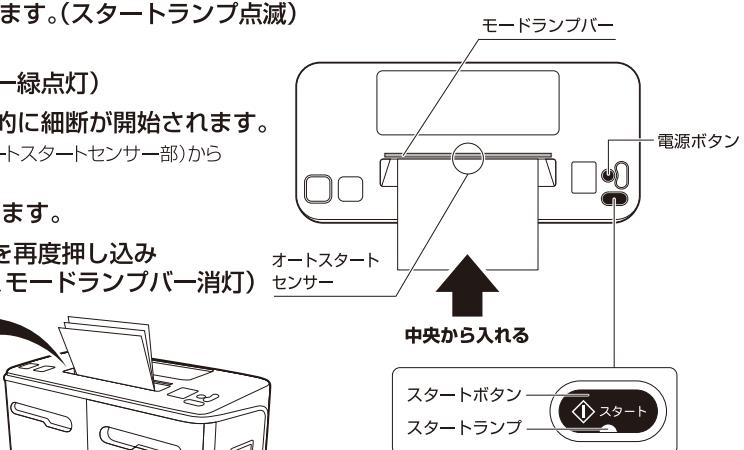
2 スタートボタンを押します。
(スタートランプ点灯、モードランプバー緑点灯)

3 細断したい紙を投入口に入れると自動的に細断が開始されます。
幅の狭い紙などを投入する場合は、投入口中央(オートスタートセンサー部)から投入してください。

4 紙がなくなると自動的に細断が停止します。

5 長時間使用しない場合は、電源ボタンを再度押し込み
[切]にしてください。(スタートランプ、モードランプバー消灯)

ステープル(ホッチキス針)
クリップなどを外す

[最大細断枚数]
A4コピー用紙(64g/m²) タテ約18枚まで
A3コピー用紙(64g/m²) タテ約14枚まで
※A4ヨコの場合は、A3タテと同等の最大細断枚数になります。

入れすぎ検知機能 (入れすぎランプ点灯)

投入した紙の厚みを検知し、紙づまりを未然に防ぎます。入れすぎランプが点灯した場合は、投入枚数を最大細断枚数以下にして再投入してください。※紙質・細断の状況によっては、最大細断枚数以下でも細断できない場合があります。

スリープモード機能

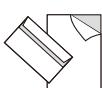
操作をしない状態が1分間続くと、自動的にスリープモードになり、スタートランプ、モードランプバーが消灯します。
細断を再開する場合は、再度スタートボタンを押してください。

オートオフ機能 (オートオフランプ点灯)

連続使用時間が長かった場合や紙づまりを何回も起こした場合、モーターを過熱から保護するために、停止状態になります。
オートオフランプが消灯するまで休ませてください。連続使用時間(定格時間)は約30分です。
※連続使用時間は細断物、環境、投入方法によって変動します。

!細断してはいけないもの!

以下のものは細断できません。絶対に入れないでください。

- 粘着シールや粘着テープを貼っている紙、カーボン紙、和紙
- フィルム付封筒、パウチ(ラミネート)したもの、フィルム/ビニール類、OHPシート
- 濡れたり湿っている紙
- ステープル(ホッチキス針)やクリップ、安全ピン、CD/DVD、クレジットカード
- 布や衣類

警告

- 細断中は投入口をのぞき込まないでください。けがなどの事故につながる恐れがあります。
- 細断物を持ったまま細断しないでください。
- 安全のため使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- オートオフ機能で細断が停止した場合、安全のため電源を切り、電源プラグを抜いてください。モーターが冷えてオートオフ機能が解除された時に、突然細断が開始し、けがなどの事故につながる恐れがあります。

注意

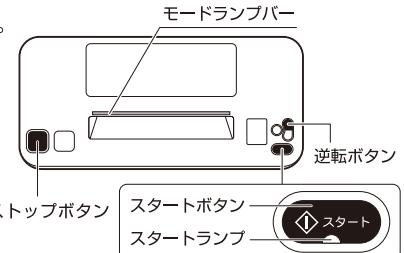
- 最大細断枚数を超える紙を投入しないでください。故障の原因になります。

緊急ストップボタンの使いかた

非常時に細断を止めたい場合は、緊急ストップボタンを押すことで、停止できます。

1 緊急ストップボタンを押すと動作が停止します。
(スタートランプ点滅、モードランプバー消灯)

2 逆転ボタンで、細断物を取り除いてください。
このとき、安全の確保のため正転の動作はできません。

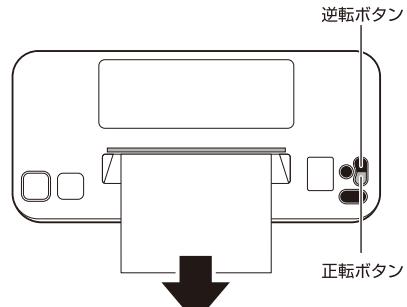
3 細断を再開する場合は、スタートボタンを押してください。

細断中につまったときは

折れ曲がった紙を投入したり、細断途中で紙が折れて厚みが変わると、細断が停止して、細断物がつまることがあります。

1 逆転ボタンを押し続け、もう片方の手で細断物を取り除いてください。
取り除けない場合は[正転][逆転]を繰り返し、細断を完了してください。

2 正転ボタンを押し続け、残った内部のつまりを取り除きます。
取り除けない場合は、上から新たな紙を押し込み、正転ボタンを押し続け細断を完了してください。

3 投入枚数を最大細断枚数以下にして再投入します。

ブレーカ機能
細断時の過負荷や異常な電流が流れたときには自動で電源が切れます。
電源を復帰するときはブレーカボタン(P.3)を押し込んで[入]にしてください。

細断くずの捨てかた

細断くずが満杯になると、ゴミ満杯ランプが点灯し、自動的に細断を停止します。

1 電源ボタンを[切]にします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

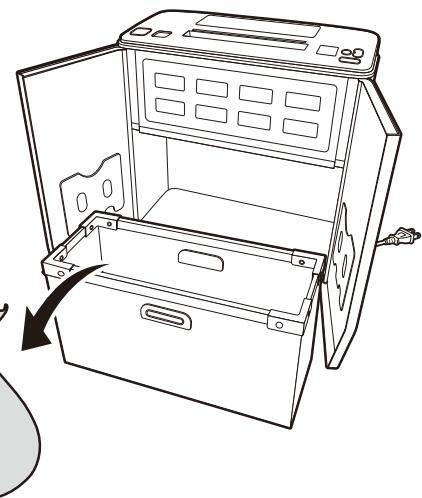
3 ゴミ箱を引き出して、ゴミ袋の細断くずを捨てます。

4 ゴミ箱にゴミ袋を取り付け、戻してください。
本体底面に細断くずが残っている場合は、取り除いてください。

警告

投入口や排出口に手を入れないでください。
けがなどの事故につながる恐れがあります。

注意

ドアを開けっぱなしにしないでください。
けがや故障の原因になります。

お手入れのしかた

1 電源ボタンが[切]になっていることを確認します。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 本製品の外側表面とゴミ箱のみ、柔らかい布でから拭きします。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませて、拭き取ってください。

警告

- 可燃性スプレー(エアダスターなど)は使用しないでください。引火･爆発の原因になります。
- 投入口や排出口に手を入れないでください。けがなどの事故につながる恐れがあります。

注意

- シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。変色･変形･傷などの原因になります。

■ カッターの細断能力(切れ具合)が低下してきた場合

別売のシュレッダーメンテナンスシート<品番:KPS-CL-MSA4>をお使いください。

故障かな？

修理を依頼する前に以下を確認してください。対処方法で解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

こんなときは	ここを確認してください	対処方法
電源が入らない	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでいますか？	電源プラグをコンセントに正しく（根元まで確実に）差し込んでください。
	本製品の電源ボタンは[入]になっていますか？	電源ボタンを押し込んで、[入]にしてください。
	ブレーカボタン（P.3）が[切]の状態になっていませんか?	ブレーカボタンを押し込んで、[入]にしてください。
細断を開始しない	スタートボタンを押していますか？	スタートボタンを押してください。
	細断したい紙を投入口中央から入れていますか？	投入口中央から入れてください。（P.4「細断のしかた」参照）
	ドアが開いていませんか？（ドアオープンランプが点灯）	ドアを正しく閉じてください。
	ゴミ箱が満杯になっていませんか？（ゴミ満杯ランプが点灯）	電源ボタンを[切]にしてプラグを抜き、細断くずを捨ててください。（P.5「細断くずの捨てかた」参照）
	細断できる枚数より多い紙を入れていませんか？（入れすぎランプが点灯）	紙をA4コピー用紙タテ18枚以下、A3コピー用紙タテ14枚以下にして細断してください。
ドアが閉まらない	ゴミ箱が奥まで入っていますか?	奥まで確実にセットしてください。
	細断くずをつめすぎて、ゴミ箱がふくらんでいませんか？	電源ボタンを[切]にしてプラグを抜き、細断くずを捨ててください。（P.5「細断くずの捨てかた」参照）
投入口に紙が入っていかない	投入口に細断物がつまっていませんか?	細断物を取り除いてください。（P.5「細断中につまったときは」参照）
細断中に停止した／細断物が逆戻りした	紙づまりを起こしていませんか?	つまった紙を取り除いてください。（P.5「細断中につまったときは」参照）
	ゴミ箱が細断くずで満杯になっていませんか？（ゴミ満杯ランプが点灯）	電源ボタンを[切]にしてプラグを抜き、細断くずを捨ててください。（P.5「細断くずの捨てかた」参照）
	オートオフ機能（P.4）が働いていませんか?（オートオフランプが点灯）	オートオフランプが消灯するまで、モーターを休ませてください。
	ブレーカボタン（P.3）が[切]の状態になっていませんか?	ブレーカボタンを押し込んで、[入]にしてください。（P.5「細断中につまったときは」参照）
細断の動作が停止しない／電源を入れただけで動く	オートスタートセンサー（P.3）に細断くずなどが付着していませんか？	電源ボタンを[切]にしてプラグを抜き、紙を縦に3回程度折って棒状にしたものでセンサー付近をこすってください。
細断くずが満杯になっていないのにゴミ満杯ランプが点灯する	満杯センサーに細断くずが付着していませんか？	電源ボタンを[切]にしてプラグを抜き、カッターに注意して付着している細断くずを取り除いてください。 ※排出口には手を入れないでください。
	排出口から細断くずがたれ下がっていませんか？	
	ゴミ袋がゴミ箱から浮いていませんか?	ゴミ袋をゴミ箱にぴったりとセットしてください。

仕様

項目	内容
品名	オフィスシュレッダー（スリムタイプ）
品番	KPS-X430
最大細断枚数	A4コピー用紙(64g/m²)タテ約18枚　A3コピー用紙(64g/m²)タテ約14枚
投入幅	310mm(A3対応)
細断寸法	4×38mm
細断方式	クロスタイプ
本体寸法	W650×D320×H700mm
ゴミ箱容量	43ℓ
作動音（無負荷時）	約55dB
連続使用時間	約30分（定格時間）
細断速度（50/60Hz）	約2.7～3.0/3.2～3.6m/分
消費電力（50/60Hz）	約250～370/170～400W
待機電力	約0W（0.1W未満） ※スリープモード時
定格電圧	AC100V（50/60Hz）
質量	45kg

※最大細断枚数・作動音・連続使用時間・細断速度・消費電力は細断物、環境、投入方法によって変動します。